



共通テスト 漢文

出題に関する最新情報

2022年9月現在



共通テストの漢文の出題

		ジャンル	出典	設問
2022	本試験	序文 詩	掇經室集	問1：漢字の意味（3問） 問2：返り点と書き下し文 問3：傍線部の解釈 問4：漢詩の形式と押韻・対句 問5：書き下し文 問6：蝶が登場した場所の順序 問7：筆者の心情の説明
	追試験	文章 史伝	重編東坡先生外集 旧唐書	問1：漢字の意味（2問） 問2：空欄補充と書き下し文 問3：傍線部の解釈 問4：返り点と書き下し文 問5：(i)短い語句の解釈 (ii)2つの資料を関連づけて解釈を問う 問6：傍線部の理由説明
2021	第1日程	詩 思想	歐陽文忠公集 韓非子	問1：漢字の意味（2問） 問2：短い語句の解釈（3問） 問3：2つの資料を関連づけた空欄補充 問4：返り点と書き下し文 問5：傍線部の解釈 問6：2つの資料を関連づけて主旨を問う
	第2日程	説話 史伝	墨池記 晋書	問1：短い語句の解釈（2問） 問2：空欄補充 問3：傍線部の句法の説明 問4：傍線部の解釈 問5：傍線部の内容説明 問6：返り点と書き下し文 問7：本文と資料に合致しない文を選ぶ



出題された文章は

2022年度本試験は、出典としては1冊の書物でしたが、漢詩とその序文が出題されました。追試験は、問5で、本文と関連のある短い資料が提示され、複数資料の出題となっていました。2021年度も第1日程・第2日程ともに、複数資料による出題でしたので、共通テストでは**複数資料の出題が連続**しています。複数資料による出題は、『共通テスト漢文満点のコツ』第3章第2講で練習できます。

2022年度本試験では、**漢詩**が出題されました。漢詩は最後のセンター試験（2020年度）の本試験でも出題されており、三年連続の出題となりました。『共通テスト漢文満点のコツ』では、**第3章第4講**で漢詩を含む問題について詳しく解説していますので、ぜひ取り組んでおきましょう。

注意したい出題内容

資料が2つあるとはいえ、現代文・古文と比べると全体の長さは短く、比較的平易です。ただし、**2つの資料を関連づけて問う**ような、思考力や総合力が試される設問も見られました。今後もこのような設問が必ず出されると予想されます。

対策

2021・2022年度とも、漢字や短い語句の意味、返り点、書き下し文、口語訳など、センター試験でもおなじみの設問が数多く出題されました。訓点や書き下し文の基本を身につけたうえで、**頻出の単語と重要句法**についてしっかりと学習することが重要です。また、本文の主旨にかかわる設問も出されています。短い文章でよいので、〈筆者が本文によって伝えようとしていることは何か〉を考えながら本文にあたるようにしましょう。『共通テスト漢文満点のコツ』や共通テスト赤本を使って、ぜひ漢文で満点をねらってください。

【本書の解説内容の補足】

p 22 乃

「そこで・それなのに・こう言って」という意味のほかに、「まさに」という意味で使われることもあります。

p 77-78 部分否定

否定詞は「不」で代表して示していますが、「未・無・非」なども使われます。

